

# 「子育てするなら遠野」へ！ 遠野児童館の移転工事に着手

老朽化のため、遠野小学校の敷地内に移転新築する遠野児童館（館長・中浜艶子市教育委員長）の工事安全祈願祭は8月28日、東館町の現地で行われました。出席した児童館や市の関係者ら40人は、さらなる子育て環境の充実を誓いました。

祈願祭では、児童館を利用している遠野小6年の金濱蓮君と安部真衣さんが「みんな



↑収穫祭には多くのビールファンが参加

仕込釜に遠野産ホップを投入する遠野ホップ農業協同組合代表理事組合長の佐々木悦雄（えつお）さん



の思いやりや夢、笑顔があふれる遠野児童館にしていきま



→元気づけ決意発表する金濱君（左）と安部さん

## 遠野産のホップは今年も上質 収穫祭とビール初仕込式を開催

遠野産ホップの収穫祭（T・Kプロジェクト実行委員会主催）は8月24日にたかむろ水光園で、そのホップを使うキリンビール「一番搾り」とれたてホップ生ビール」の初仕込式（同社主催）は9月10日に同社仙台工場でそれぞれ開催されました。参加者は、遠野産ホップを使用した上質なビールの出荷に期待を寄せました。収穫祭には、ビールファン

など130人が参加し、収穫作業を見学した後、ビールとジンギスカンを堪能。初仕込式には、関係者ら150人が出席し、遠野産ホップを仕込釜に投入するなどのセレモニーを行いました。今年の収穫量は42トで、品質は例年以上の出来栄。ビールは全国7工場67万ケースの製造を見込み、数量限定で10月28日から全国販売されます。

## 防火に協力

## 岩手県幼少年婦人 防火委員長表彰



今年の遠野まつりにて、防火みこして火災予防を呼びかける同クラブのメンバーら

## 遠野北小少年消防クラブ 優良指導者

遠野北小少年消防クラブの指導者として児童への火災予防啓発の指導が評価されました。菊池代表は同クラブを率い地域の安全を見守る夜回り活動や市消防本部主催の消防フェアなどに積極的に参加。意欲的に火災予防活動に取り組んできました。菊池代表は「児童や保護者、地域住民の努力のたまもの。常に火災予防を意識した行動を心掛けていきたい」と誓いました。

## 厚生労働大臣感謝状 献血推進協力団体



## 献血に尽力

## 株式会社クライ 岩手事業所

平成2年から24年間にわたり、事業所献血バスの受け入れに貢献しました。中でも、医療機関からの需要の90%を占めるという400%の献血に協力。献血普及のために積極的に取り組んできました。宮田取締役は「従業員一人一人の献血に対する意識の高さが評価につながりました。これからも継続して受け入れ、社会貢献に努めていきたい」と決意を新たにしました。

## 市職員の人事異動

市は、10月1日付けで職員の人事異動を行いました。課題解決に向けた体制を強化するため、一つの部署を新設したほか、職員配置を強化しました。異動の特徴と異動者についてお知らせします。

### Parsonal Changes

#### 異動の特徴

- ▶産業振興部に雇用定住環境整備室を新設。雇用の確保と定住促進による地域活性化を図り、人口減少に歯止めをかける
- ▶本庁舎建設室の人員を増加し、本庁舎を核とした中心市街地活性化を推進
- ▶新エネルギービジョンの推進体制を強化
- ▶全国「道の駅」連絡会事務局へ職員を派遣

#### 異動者紹介

【部長級】▷農林畜産部長兼木工団地組織強化担当部長 大里政純

【課長級以下】▷経営企画部主査兼農林畜産部林業振興課再生可能エネルギー担当主査 新田和彦▷経営企画部主事 佐々木麻衣▷総務部総務課長兼経営企画部主幹 菊池享▷産業振興部商工観光課長兼本主幹 立花信一▷経営企画部主事兼本主事 菊池倫史▷総務部税務課主事 佐藤秀晃▷産業振興部商工観光課六次産業推進担当課長 菊池太一▷産業振興部商工観光課主事(全国道の駅連絡会事務局派遣) 箱山大樹▷雇室長 菊池正▷経営企画部企画・秘書広報担当課長兼

雇主幹 佐藤浩一▷経営企画部管理情報担当課長兼雇主幹 澤村一行▷雇主査兼農林畜産部農家支援室六次産業推進担当主査 永田裕▷雇主査 濱田卓也▷雇主任(再任用) 多田勝紀▷消防本部遠野消防署消防士 山口忠良▷同 菊池春樹▷同 菊池翔太▷同 菊池駿▷消防本部遠野消防署宮守出張所消防士 佐藤祥▷市民センター市民協働課長補佐兼施設管理係長 佐藤邦昭▷市民センター市民協働課主任 阿部仁一▷遠野地区公民館主事(併)遠野地区センター主事 菊池裕樹▷農業委員会事務局次長兼農地係長 村上和男▷農林畜産部農業振興課副主幹(農地集積担当)(併)農業委員会事務局副主幹 阿部隆宏



同施設で新たに導入される予定のごみ貯留排出機

## ごみ処理広域化まであと1年！ 燃えるごみの中継施設が着工

来年10月から稼働を予定している岩手中部広域クリーンセンター遠野地区中継施設（仮称）の工事安全祈願祭は8月28日、綾織町の清養園クリーンセンター隣接地の建設予定地で行われました。関係者や地元住民ら50人が出席。玉串の奉納など行い、工事の安全を祈りました。本田市市長は「地域の環境保全と、衛生的で安心な暮らしのため、広域連携の力で事業を成功させたい」と決意しました。ごみ処理の広域化は、4市町で組織する岩手中部広域行政組合(管理者・高橋敏彦)北上市長が実施。広域化に伴い、現在使用している清養園クリーンセンターの焼却施設

### 燃えるごみの減量にご協力を！

ごみ処理の広域化に伴い、市内の燃えるごみはすべて運搬・処理されます。その経費は、燃えるごみの排出量に応じて負担することとなります。経費節減と資源の有効活用のため、「紙ごみやプラごみを、資源ごみとしてしっかり分別する」など、燃えるごみの減量化にご協力ください！



鉄入れする本田市市長(左)と高橋北上市長